

田沼幸子(たぬま・さちこ)特任研究員:2007年9月16日着任

1. 論文・著書

“Post-Utopian Irony: Cuban Narratives during the “Special Period” Decade,”

*PoLAR* vol. 30, no.1 (2007): pp. 46–66 (査読有)

“Yuma: Imagining utopia in post-1990 Cuba,” in *Mujeres en el Mundo: Migración, Género,*

*Trabajo Historia, arte y política*, ed. Yamile Delgado de Smith & María Cristina

González (Universidad de Carabobo, Venezuela, 2008)(共著)

「ポスト・ユートピアのキューバ: 非常な日常の民族誌」(博士論文、大阪大学、2007年)

『ポスト・ユートピアの人類学』(共編著)、石塚道子、富山一郎、田沼幸子共編著

(人文書院、2008年)

2. 学会・シンポジウム発表

「革命キューバの民族誌的研究について: ポスト・ユートピアの希望を語るために」

日本ラテンアメリカ学会第28回研究大会(南山大学、2007年6月)

「〈あいだ〉の言葉を聞くー人類学者と映像の可能性」日本文化人類学会第42回研究大会

分科会「Rethinking the Visual」主催(京都大学、2008年6月)

3. GCOE内の研究プロジェクト活動

「民族誌/co-labo 100」研究プロジェクト代表者

計13回の研究会を開催

「映像作成によるコンフリクトの人文国際研究教育の可能性」研究プロジェクト代表者

計4回の公開シンポジウム・ワークショップと研究会を開催

計12回の映像実践指導と計44回の上映会(上映数62本)を開催

第13回「コンフリクトの人文国際研究」セミナー研究報告

「Visualにまつわる人類学のコンフリクトの、人類学的考察」(大阪大学、2008年6月)

『コンフリクトの人文国際研究』第3号 特集「Rethinking the Visual」編集担当

4. 2009年度に発表が決定済みの研究業績

「〈あいだ〉の言葉を聞くー人類学者と映像の可能性」(研究ノート)

『コンフリクトの人文国際研究』第3号(大阪大学出版会、2009年10月刊行予定)(査読有)

5. 研究資金取得状況

科学研究費補助金(若手研究B)

「キューバからの越境における希望と実践の人類学的研究」

(研究代表者、平成19年度～21年度)